



株式会社スコヒアファーマ

2021年2月8日

**GPR40 フルアゴニスト(SCO-267)の前臨床試験に関する論文掲載について；
SCO-267 の慢性暴露は糖尿病治療に対し持続的に有効である**

株式会社スコヒアファーマの研究グループは GPR40 フルアゴニストである SCO-267 をラットに慢性暴露させることは持続的に血糖コントロールを改善できることを明らかにしました。この研究成果は「*Molecular Pharmacology*」でオンライン公開されました。

論文名

Chronic exposure to SCO-267, an allosteric GPR40 full agonist, is effective in improving glycemic control in rats

<https://doi.org/10.1124/molpharm.120.000168>

GPR40 フルアゴニストである SCO-267 を介した GPR40 の活性化は膵島および腸管ホルモンを効率的に分泌することで糖尿病を改善することがラットにおいて分かっています([Link](#))。糖尿病が慢性疾患であることを考慮すると治療薬には薬効の持続性が必要ですが、薬剤を慢性的に暴露させたとき SCO-267 による GPR40 のフルアゴニズムが持続的な作用を発揮できるかは分かっていませんでした。

本研究では、まず細胞系において SCO-267 処置時に活性化される GPR40 の下流シグナルは本化合物を長時間暴露した後においても大きく維持されていることを明らかにしました。SCO-267 の単回投与は極めて強力に耐糖能を改善しましたが、本化合物を糖尿病モデルラットに 5 週間慢性的に暴露させた後に SCO-267 を投与したときにも極めて強力な耐糖能改善作用が確認されました。

これらの結果は本化合物に慢性的に暴露された後でも SCO-267 を処置すると GPR40 の下流が十分に活性化できることを細胞およびラットで示したものであり、本薬剤を糖尿病などを含む慢性疾患の治療薬として臨床適用することを支持するものです。

以上

本件に関するお問い合わせ先

info@scohia.com